

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況 [2013年第1四半期(1月～3月)]

～脆弱性の届出件数の累計が8,400件を超過～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江 一正）および JPCERT/CC（一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、代表理事：歌代 和正）は、2013年第1四半期（1月～3月）の脆弱性関連情報の届出状況^(*)を「脆弱性関連情報に関する活動報告レポート」としてまとめました。

<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/vuln2013q1.html>

<https://www.jpccert.or.jp/report/press.html>

脆弱性届出状況の報告

2013年第1四半期の脆弱性情報の届出件数は277件で、内訳はソフトウェア製品に関するものが64件、ウェブサイト（ウェブアプリケーション）に関するものが213件でした。これにより、2004年7月の届出受付開始からの累計は、ソフトウェア製品に関するものが1,531件、ウェブサイトに関するものが6,913件、合計8,444件となりました。

脆弱性修正完了状況の報告

届出のうち2013年第1四半期に修正を完了したものは、ソフトウェア製品については30件（修正完了率55%）、ウェブサイトについては196件（修正完了率70%）でした。

届出のあった脆弱性関連情報のうち、特に注目すべき事例について以下に簡単に紹介します。

DNSの設定不備について（レポート1-4.参照）

ウェブアプリケーションの脆弱性として、DNS^(*)サーバの設定不備により、利用者が偽のウェブサイトにアクセスさせられてしまう可能性があるとの届出が15件寄せられています。この問題は、利用者が当該ウェブサイトにアクセスする際に参照するDNSの「委譲」に関する設定が適切でないために、第三者が勝手に偽のDNS応答を返すことができってしまうことから起こるもので、DNS管理業者の変更やサーバ設定の更新時の設定変更忘れ、ドメイン名のミススペルなどの設定ミスが原因と考えられます。ウェブサイト運営者、DNS管理者に対し、DNSサーバの設定を改めて確認されることを望みます。

■ 本件に関するお問い合わせ先
IPA 技術本部 セキュリティセンター 渡辺/大森
Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518
E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
JPCERT/CC 情報流通対策グループ 古田
Tel: 03-3518-4600 Fax: 03-3518-4602
E-mail: office@jpccert.or.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先
IPA 戦略企画部広報グループ 横山/梶
Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510
E-mail: pr-inq@ipa.go.jp
JPCERT/CC 事業推進基盤グループ 広報 江田
Tel: 03-3518-4600 Fax: 03-3518-4602
E-mail: pr@jpccert.or.jp

(*) ソフトウェア等脆弱性関連情報取扱基準：経済産業省告示に基づき、2004年7月より開始しました。IPAは届出受付・分析、JPCERT/CCは国内の製品開発者などの関連組織との調整を行っています。

(**) DNS:Domain Name System の略。インターネット上でドメイン名を管理・運用するために開発されたシステム。